

令和4(2022)年度 『歴史総合』 シラバス

令和4年度		学校名	県立具志川高等学校	科・コース名	普通科	クラス	1～6組	単位	2	学年	1
年間指導計画		教科名	地理歴史	科目名	歴史総合	教科書名(会社名)	明解 歴史総合(帝国書院)				
科目目標 (資質・能力)	柱書	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。									
	知識及び技能	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。									
	思考力、判断力、表現力等	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。									
	学びに向かう力、人間性等	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。									
観点別評価の表記について		・学習改善(指導)に生かす評価【●】は、毎時間行うものであり年間指導計画には表記しない。 ・評定に用いる(記録に残す)評価は、【◎】＝ペーパーテストで見取る、【○】＝ワークシートなどでのペーパーテスト以外で見取ることを表す。									
学期	月	大項目 (大項目の 小項目の 問い)	中項目 (教科書にある單元名でも可)	FQ (中項目/單元を貫く問い)	小單元名と考査の位置づけ	MQ(本時の問い)	評価の観点 知 思 能			時数	
1学期	4月	1部 歴史 の 歴史	なぜ歴史を学ぶのか 1章 歴史と私たち 2章 歴史的特質と資料	「歴史」とは何か	オリエンテーション 参講資料 各地域の諸文明 1 歴史と私たち 身近なものと歴史 2 歴史的特質と資料	私たちの身近にあるものは、どのような歴史や世界との結び付きがあるのだろうか。 私たちは過去の状況を知り、伝えてきたのだろうか。	◎	○	○	1	
					①交通と貿易 ②産業と人口 ③権利意識と政治参加や国民の義務 ④学校教育 ⑤労働と家族 ⑥移民	6つのキーワードからどのような疑問点が浮かびあがってくるのだろうか。		○	○	2	
					1 アジアのなかの江戸幕府 2 成熟する江戸社会 3 清の繁栄と結びつく東アジア 4 アジア・アメリカに向かうヨーロッパ	江戸時代の日本と世界は、どのように結び付いていたのだろうか。 江戸時代後期の日本は、どのような社会だったのだろうか。 18世紀の清は、アジアやヨーロッパとどのように結び付いていたのだろうか。 17～18世紀のアジアやアメリカでは、どのような貿易が展開されていたのだろうか。	◎	○	○	1	
					【1学期中間考査】					◎	◎
	5月	2部 近代化 とは 何か	序章 近代化への問い 1章 江戸時代の日本と結びつく世界 2章 欧米諸国における近代化 3章 近代化の進展と国民国家形成	「近代化」とは何か	1 イギリスの革命とアメリカの独立 2 フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け 3 フランス革命の影響と国民意識の芽生え 4 産業革命で変わる社会 5 イギリスの繁栄と国際分業体制 1 1848年～近代ヨーロッパの転換点 2 イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化 3 アメリカの拡大と第2次産業革命 4 帝国主義と世界の一体化	イギリスの革命とアメリカの独立戦争によって、どのような政治体制が生まれたのだろうか。 フランス革命によって、政治と社会はどのように変化したのだろうか。 フランス革命は、当時のヨーロッパ(アメリカ大陸の独立)にどのような影響を与えたのだろうか。 産業革命は、近代社会の形成にどのような役割を果たしたのだろうか。 欧米による世界市場の形成は、世界をどのように変えていったのだろうか。 1848年を境に、ヨーロッパではどのような社会に変化していったのだろうか。 イタリア・ドイツ・ロシアではどのように近代国家形成を展開したのだろうか。 アメリカは、どのようにして国内統一と工業化を達成したのだろうか。 第2次産業革命後、世界規模でどのような変化があったのだろうか。	◎	○	○	1	
					18世紀の日本やアジア、ヨーロッパは、それぞれどのように結び付いていたのだろうか。						
					欧米で起こった市民革命・産業革命により、社会はどのように変化したのだろうか。						
					近代化が進むなかで、欧米諸国はどのような国家を形成していったのだろうか。						
	6月	3部 「国際秩序 の変化や大衆化」とは何か	序章 国際秩序の変化や大衆化への問い 1章 第一次世界大戦と日本の対応 2章 国際協調と大衆社会の広がり 3章 日本の行方と第二次世界大戦 4章 再出発する世界と日本	「国際秩序の変化や大衆化」とは何か	1 西洋の衝撃と西アジアの変化 2 南・東南アジアの植民地化 3 ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争 4 黒船の来航と日本の対応 5 新体制の誕生と江戸幕府の滅亡 1 新政府の誕生 2 近代国家を目指す日本 3 日本と清の近代化と日清戦争 4 列強の中国進出と日露戦争 5 日露戦争が与えた影響 「近代化」を振り返り現代的な諸課題と結び付けて考えよう！	イスラーム諸国は、ヨーロッパ諸国の進出により、どのような影響を受けたのだろうか。 どのようにして、アジアの各地にヨーロッパの植民地が形成されていったのだろうか。 清は、ヨーロッパ諸国の進出に対してどのように対応したのだろうか。 日本は、欧米諸国の進出に対して、どのように対応したのだろうか。 日本では、近代化を受け入れるにあたり、どのような対立があったのだろうか。 明治維新により、日本はどのような国家に変化したのだろうか。 日本は、近代国家となるために、どのような政策を進めていったのだろうか。 近代化の進展により、日本・清・朝鮮の国際関係は、どのように変化したのだろうか。 日清戦争の後、日本や清では、どのような変化があったのだろうか。 日露戦争の結果は、世界の各国にどのような影響を与えたのだろうか。 現代の諸課題を通し、近代化とは何だったのかを考察しよう。	◎	○	○	1	
					近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのだろうか。						
					日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変えていったのだろうか。						
					1 国際関係の緊密化 ②アメリカ合衆国とソビエト連邦の台頭 ③植民地の独立 ④大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化 ⑤生活様式の変化		○	○		1	
2学期	7月	4部 「グローバル化」とは何か	序章 グローバル 1章 冷戦で揺れる世界と日本 2章 多極化する世界 3章 グローバル化のなかの世界と日本	「グローバル化」とは何か	1 ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 2 総力戦となった第一次世界大戦 3 ロシア革命と大戦の終結 【2学期中間考査】 1 ヴェルサイユ体制の成立 2 東アジアの民族自決の行方 3 中東・インドの民族自決の影響 4 ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 5 大衆社会の出現とアメリカの繁栄 6 日本における大衆社会の形成 1 世界恐慌が与えた影響 2 ファシズムの台頭と拡大 3 政党政治の断絶と満洲事変 4 日中戦争の始まり 5 第二次世界大戦の展開 6 戦局の悪化と被害の拡大 7 第二次世界大戦の終結とその惨禍 【2学期期末考査】 1 戦後の新たな国際秩序 2 冷戦の始まり 3 日本撤退後の東アジア 4 日本の改革と独立の回復 「国際秩序の変化や大衆化」を振り返り現代的な諸課題と結び付けて考えよう！ 現代の諸課題を通し、国際秩序の変化や大衆化について考察しよう。	ドイツとロシアの対外政策の変更は、どのような対立を生んだのだろうか。 世界の国々とその国民は、どのようにして第一次世界大戦に関わっていったのだろうか。 どのようにして、ロシアで社会主義政権が誕生していったのだろうか。 第一次世界大戦後、どのような国際秩序が形成されたのだろうか。 第一次世界大戦後、東アジアではどのような変化が起こったのだろうか。 第一次世界大戦は、中東諸国やインドにどのような影響を与えたのだろうか。 第一次世界大戦後、人々はどういったことを望んだのだろうか。 第2次産業革命以降、欧米などで形成された大衆社会とは、どのようなものだろうか。 日本では、どのようにして大衆社会が形成されていったのだろうか。 世界恐慌は、国際協調体制にどのような影響を与えたのだろうか。 ファシスト党やナチ党は、どのようにして人々をひき付けていったのだろうか。 なぜ日本は、満洲への進出を進めていったのだろうか。 なぜ、日本は日中戦争へと突き進んでいったのだろうか。 第二次世界大戦は、どのようにして世界規模の戦争になっていったのだろうか。 第二次世界大戦は、どのように進展したのだろうか。 第二次世界大戦は、どのように終結し、どのような問題を残したのだろうか。 第二次世界大戦後、どの国々を中心として、どのような国際体制が作られたのだろうか。 アメリカとソ連の対立は、ヨーロッパにおいてどのような形で表れたのだろうか。 日本軍が撤退したあとのアジア諸国は、どのように主権を回復していったのだろうか。 占領下の日本では、どのような国が目指され、どのように独立を回復したのだろうか。 現代の諸課題を通し、国際秩序の変化や大衆化について考察しよう。	◎	○	○	1	
					第一次世界大戦は、日本を含む世界の国々にとってどのような戦争になったのだろうか。						
					欧米や日本など、世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったのだろうか。						
					大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのだろうか。						
	8月	5部 「国際秩序 の変化や大衆化」とは何か	序章 国際秩序の変化や大衆化への問い 1章 第一次世界大戦と日本の対応 2章 国際協調と大衆社会の広がり 3章 日本の行方と第二次世界大戦 4章 再出発する世界と日本	「国際秩序の変化や大衆化」とは何か	1 西洋の衝撃と西アジアの変化 2 南・東南アジアの植民地化 3 ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争 4 黒船の来航と日本の対応 5 新体制の誕生と江戸幕府の滅亡 1 新政府の誕生 2 近代国家を目指す日本 3 日本と清の近代化と日清戦争 4 列強の中国進出と日露戦争 5 日露戦争が与えた影響 「近代化」を振り返り現代的な諸課題と結び付けて考えよう！	イスラーム諸国は、ヨーロッパ諸国の進出により、どのような影響を受けたのだろうか。 どのようにして、アジアの各地にヨーロッパの植民地が形成されていったのだろうか。 清は、ヨーロッパ諸国の進出に対してどのように対応したのだろうか。 日本は、欧米諸国の進出に対して、どのように対応したのだろうか。 日本では、近代化を受け入れるにあたり、どのような対立があったのだろうか。 明治維新により、日本はどのような国家に変化したのだろうか。 日本は、近代国家となるために、どのような政策を進めていったのだろうか。 近代化の進展により、日本・清・朝鮮の国際関係は、どのように変化したのだろうか。 日清戦争の後、日本や清では、どのような変化があったのだろうか。 日露戦争の結果は、世界の各国にどのような影響を与えたのだろうか。 現代の諸課題を通し、近代化とは何だったのかを考察しよう。	◎	○	○	1	
					近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのだろうか。						
					日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変えていったのだろうか。						
					1 国際関係の緊密化 ②アメリカ合衆国とソビエト連邦の台頭 ③植民地の独立 ④大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化 ⑤生活様式の変化		○	○		1	
	9月	6部 「グローバル化」とは何か	序章 グローバル 1章 冷戦で揺れる世界と日本 2章 多極化する世界 3章 グローバル化のなかの世界と日本	「グローバル化」とは何か	1 ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 2 総力戦となった第一次世界大戦 3 ロシア革命と大戦の終結 【2学期中間考査】 1 ヴェルサイユ体制の成立 2 東アジアの民族自決の行方 3 中東・インドの民族自決の影響 4 ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 5 大衆社会の出現とアメリカの繁栄 6 日本における大衆社会の形成 1 世界恐慌が与えた影響 2 ファシズムの台頭と拡大 3 政党政治の断絶と満洲事変 4 日中戦争の始まり 5 第二次世界大戦の展開 6 戦局の悪化と被害の拡大 7 第二次世界大戦の終結とその惨禍 【2学期期末考査】 1 戦後の新たな国際秩序 2 冷戦の始まり 3 日本撤退後の東アジア 4 日本の改革と独立の回復 「国際秩序の変化や大衆化」を振り返り現代的な諸課題と結び付けて考えよう！ 現代の諸課題を通し、国際秩序の変化や大衆化について考察しよう。	ドイツとロシアの対外政策の変更は、どのような対立を生んだのだろうか。 世界の国々とその国民は、どのようにして第一次世界大戦に関わっていったのだろうか。 どのようにして、ロシアで社会主義政権が誕生していったのだろうか。 第一次世界大戦後、どのような国際秩序が形成されたのだろうか。 第一次世界大戦後、東アジアではどのような変化が起こったのだろうか。 第一次世界大戦は、中東諸国やインドにどのような影響を与えたのだろうか。 第一次世界大戦後、人々はどういったことを望んだのだろうか。 第2次産業革命以降、欧米などで形成された大衆社会とは、どのようなものだろうか。 日本では、どのようにして大衆社会が形成されていったのだろうか。 世界恐慌は、国際協調体制にどのような影響を与えたのだろうか。 ファシスト党やナチ党は、どのようにして人々をひき付けていったのだろうか。 なぜ日本は、満洲への進出を進めていったのだろうか。 なぜ、日本は日中戦争へと突き進んでいったのだろうか。 第二次世界大戦は、どのようにして世界規模の戦争になっていったのだろうか。 第二次世界大戦は、どのように進展したのだろうか。 第二次世界大戦は、どのように終結し、どのような問題を残したのだろうか。 第二次世界大戦後、どの国々を中心として、どのような国際体制が作られたのだろうか。 アメリカとソ連の対立は、ヨーロッパにおいてどのような形で表れたのだろうか。 日本軍が撤退したあとのアジア諸国は、どのように主権を回復していったのだろうか。 占領下の日本では、どのような国が目指され、どのように独立を回復したのだろうか。 現代の諸課題を通し、国際秩序の変化や大衆化について考察しよう。	◎	○	○	1	
					第一次世界大戦は、日本を含む世界の国々にとってどのような戦争になったのだろうか。						
					欧米や日本など、世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったのだろうか。						
					大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのだろうか。						
3学期	10月	7部 「国際秩序 の変化や大衆化」とは何か	序章 国際秩序の変化や大衆化への問い 1章 第一次世界大戦と日本の対応 2章 国際協調と大衆社会の広がり 3章 日本の行方と第二次世界大戦 4章 再出発する世界と日本	「国際秩序の変化や大衆化」とは何か	1 西洋の衝撃と西アジアの変化 2 南・東南アジアの植民地化 3 ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争 4 黒船の来航と日本の対応 5 新体制の誕生と江戸幕府の滅亡 1 新政府の誕生 2 近代国家を目指す日本 3 日本と清の近代化と日清戦争 4 列強の中国進出と日露戦争 5 日露戦争が与えた影響 「近代化」を振り返り現代的な諸課題と結び付けて考えよう！	イスラーム諸国は、ヨーロッパ諸国の進出により、どのような影響を受けたのだろうか。 どのようにして、アジアの各地にヨーロッパの植民地が形成されていったのだろうか。 清は、ヨーロッパ諸国の進出に対してどのように対応したのだろうか。 日本は、欧米諸国の進出に対して、どのように対応したのだろうか。 日本では、近代化を受け入れるにあたり、どのような対立があったのだろうか。 明治維新により、日本はどのような国家に変化したのだろうか。 日本は、近代国家となるために、どのような政策を進めていったのだろうか。 近代化の進展により、日本・清・朝鮮の国際関係は、どのように変化したのだろうか。 日清戦争の後、日本や清では、どのような変化があったのだろうか。 日露戦争の結果は、世界の各国にどのような影響を与えたのだろうか。 現代の諸課題を通し、近代化とは何だったのかを考察しよう。	◎	○	○	1	
					近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのだろうか。						
					日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変えていったのだろうか。						
					1 国際関係の緊密化 ②アメリカ合衆国とソビエト連邦の台頭 ③植民地の独立 ④大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化 ⑤生活様式の変化		○	○		1	
	11月	8部 「グローバル化」とは何か	序章 グローバル 1章 冷戦で揺れる世界と日本 2章 多極化する世界 3章 グローバル化のなかの世界と日本	「グローバル化」とは何か	1 ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 2 総力戦となった第一次世界大戦 3 ロシア革命と大戦の終結 【2学期中間考査】 1 ヴェルサイユ体制の成立 2 東アジアの民族自決の行方 3 中東・インドの民族自決の影響 4 ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 5 大衆社会の出現とアメリカの繁栄 6 日本における大衆社会の形成 1 世界恐慌が与えた影響 2 ファシズムの台頭と拡大 3 政党政治の断絶と満洲事変 4 日中戦争の始まり 5 第二次世界大戦の展開 6 戦局の悪化と被害の拡大 7 第二次世界大戦の終結とその惨禍 【2学期期末考査】 1 戦後の新たな国際秩序 2 冷戦の始まり 3 日本撤退後の東アジア 4 日本の改革と独立の回復 「国際秩序の変化や大衆化」を振り返り現代的な諸課題と結び付けて考えよう！ 現代の諸課題を通し、国際秩序の変化や大衆化について考察しよう。	ドイツとロシアの対外政策の変更は、どのような対立を生んだのだろうか。 世界の国々とその国民は、どのようにして第一次世界大戦に関わっていったのだろうか。 どのようにして、ロシアで社会主義政権が誕生していったのだろうか。 第一次世界大戦後、どのような国際秩序が形成されたのだろうか。 第一次世界大戦後、東アジアではどのような変化が起こったのだろうか。 第一次世界大戦は、中東諸国やインドにどのような影響を与えたのだろうか。 第一次世界大戦後、人々はどういったことを望んだのだろうか。 第2次産業革命以降、欧米などで形成された大衆社会とは、どのようなものだろうか。 日本では、どのようにして大衆社会が形成されていったのだろうか。 世界恐慌は、国際協調体制にどのような影響を与えたのだろうか。 ファシスト党やナチ党は、どのようにして人々をひき付けていったのだろうか。 なぜ日本は、満洲への進出を進めていったのだろうか。 なぜ、日本は日中戦争へと突き進んでいったのだろうか。 第二次世界大戦は、どのようにして世界規模の戦争になっていったのだろうか。 第二次世界大戦は、どのように進展したのだろうか。 第二次世界大戦は、どのように終結し、どのような問題を残したのだろうか。 第二次世界大戦後、どの国々を中心として、どのような国際体制が作られたのだろうか。 アメリカとソ連の対立は、ヨーロッパにおいてどのような形で表れたのだろうか。 日本軍が撤退したあとのアジア諸国は、どのように主権を回復していったのだろうか。 占領下の日本では、どのような国が目指され、どのように独立を回復したのだろうか。 現代の諸課題を通し、国際秩序の変化や大衆化について考察しよう。	◎	○	○	1	
					第一次世界大戦は、日本を含む世界の国々にとってどのような戦争になったのだろうか。						
					欧米や日本など、世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったのだろうか。						
					大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのだろうか。						
	12月	9部 「国際秩序 の変化や大衆化」とは何か	序章 国際秩序の変化や大衆化への問い 1章 第一次世界大戦と日本の対応 2章 国際協調と大衆社会の広がり 3章 日本の行方と第二次世界大戦 4章 再出発する世界と日本	「国際秩序の変化や大衆化」とは何か	1 西洋の衝撃と西アジアの変化 2 南・東南アジアの植民地化 3 ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争 4 黒船の来航と日本の対応 5 新体制の誕生と江戸幕府の滅亡 1 新政府の誕生 2 近代国家を目指す日本 3 日本と清の近代化と日清戦争 4 列強の中国進出と日露戦争 5 日露戦争が与えた影響 「近代化」を振り返り現代的な諸課題と結び付けて考えよう！	イスラーム諸国は、ヨーロッパ諸国の進出により、どのような影響を受けたのだろうか。 どのようにして、アジアの各地にヨーロッパの植民地が形成されていったのだろうか。 清は、ヨーロッパ諸国の進出に対してどのように対応したのだろうか。 日本は、欧米諸国の進出に対して、どのように対応したのだろうか。 日本では、近代化を受け入れるにあたり、どのような対立があったのだろうか。 明治維新により、日本はどのような国家に変化したのだろうか。 日本は、近代国家となるために、どのような政策を進めていったのだろうか。 近代化の進展により、日本・清・朝鮮の国際関係は、どのように変化したのだろうか。 日清戦争の後、日本や清では、どのような変化があったのだろうか。 日露戦争の結果は、世界の各国にどのような影響を与えたのだろうか。 現代の諸課題を通し、近代化とは何だったのかを考察しよう。	◎	○	○	1	
					近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのだろうか。						
					日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変えていったのだろうか。						
					1 国際関係の緊密化 ②アメリカ合衆国とソビエト連邦の台頭 ③植民地の独立 ④大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化 ⑤生活様式の変化		○	○		1	
1月	10部 「国際秩序 の変化や大衆化」とは何か	序章 国際秩序の変化や大衆化への問い 1章 第一次世界大戦と日本の対応 2章 国際協調と大衆社会の広がり 3章 日本の行方と第二次世界大戦 4章 再出発する世界と日本	「国際秩序の変化や大衆化」とは何か	1 ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 2 総力戦となった第一次世界大戦 3 ロシア革命と大戦の終結 【2学期中間考査】 1 ヴェルサイユ体制の成立 2 東アジアの民族自決の行方 3 中東・インドの民族自決の影響 4 ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 5 大衆社会の出現とアメリカの繁栄 6 日本における大衆社会の形成 1 世界恐慌が与えた影響 2 ファシズムの台頭と拡大 3 政党政治の断絶と満洲事変 4 日中戦争の始まり 5 第二次世界大戦の展開 6 戦局の悪化と被害の拡大 7 第二次世界大戦の終結とその惨禍 【2学期期末考査】 1 戦後の新たな国際秩序 2 冷戦の始まり 3 日本撤退後の東アジア 4 日本の改革と独立の回復 「国際秩序の変化や大衆化」を振り返り現代的な諸課題と結び付けて考えよう！ 現代の諸課題を通し、国際秩序の変化や大衆化について考察しよう。	ドイツとロシアの対外政策の変更は、どのような対立を生んだのだろうか。 世界の国々とその国民は、どのようにして第一次世界大戦に関わっていったのだろうか。 どのようにして、ロシアで社会主義政権が誕生していったのだろうか。 第一次世界大戦後、どのような国際秩序が形成されたのだろうか。 第一次世界大戦後、東アジアではどのような変化が起こったのだろうか。 第一次世界大戦は、中東諸国やインドにどのような影響を与えたのだろうか。 第一次世界大戦後、人々はどういったことを望んだのだろうか。 第2次産業革命以降、欧米などで形成された大衆社会とは、どのようなものだろうか。 日本では、どのようにして大衆社会が形成されていったのだろうか。 世界恐慌は、国際協調体制にどのような影響を与えたのだろうか。 ファシスト党やナチ党は、どのようにして人々をひき付けていったのだろうか。 なぜ日本は、満洲への進出を進めていったのだろうか。 なぜ、日本は日中戦争へと突き進んでいったのだろうか。 第二次世界大戦は、どのようにして世界規模の戦争になっていったのだろうか。 第二次世界大戦は、どのように進展したのだろうか。 第二次世界大戦は、どのように終結し、どのような問題を残したのだろうか。 第二次世界大戦後、どの国々を中心として、どのような国際体制が作られたのだろうか。 アメリカとソ連の対立は、ヨーロッパにおいてどのような形で表れたのだろうか。 日本軍が撤退したあとのアジア諸国は、どのように主権を回復していったのだろうか。 占領下の日本では、どのような国が目指され、どのように独立を回復したのだろうか。 現代の諸課題を通し、国際秩序の変化や大衆化について考察しよう。	◎	○	○	1		
				第一次世界大戦は、日本を含む世界の国々にとってどのような戦争になったのだろうか。							
				欧米や日本など、世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったのだろうか。							
				大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのだろうか。							
2月	11部 「国際秩序 の変化や大衆化」とは何か	序章 国際秩序の変化や大衆化への問い 1章 第一次世界大戦と日本の対応 2章 国際協調と大衆社会の広がり 3章 日本の行方と第二次世界大戦 4章 再出発する世界と日本	「国際秩序の変化や大衆化」とは何か	1 西洋の衝撃と西アジアの変化 2 南・東南アジアの植民地化 3 ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争 4 黒船の来航と日本の対応 5 新体制の誕生と江戸幕府の滅亡 1 新政府の誕生 2 近代国家を目指す日本 3 日本と清の近代化と日清戦争 4 列強の中国進出と日露戦争 5 日露戦争が与えた影響 「近代化」を振り返り現代的な諸課題と結び付けて考えよう！	イスラーム諸国は、ヨーロッパ諸国の進出により、どのような影響を受けたのだろうか。 どのようにして、アジアの各地にヨーロッパの植民地が形成されていったのだろうか。 清は、ヨーロッパ諸国の進出に対してどのように対応したのだろうか。 日本は、欧米諸国の進出に対して、どのように対応したのだろうか。 日本では、近代化を受け入れるにあたり、どのような対立があったのだろうか。 明治維新により、日本はどのような国家に変化したのだろうか。 日本は、近代国家となるために、どのような政策を進めていったのだろうか。 近代化の進展により、日本・清・朝鮮の国際関係は、どのように変化したのだろうか。 日清戦争の後、日本や清では、どのような変化があったのだろうか。 日露戦争の結果は、世界の各国にどのような影響を与えたのだろうか。 現代の諸課題を通し、近代化とは何だったのかを考察しよう。	◎	○	○	1		
				近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのだろうか。							
				日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変えていったのだろうか。							
				1 国際関係の緊密化 ②アメリカ合衆国とソビエト連邦の台頭 ③植民地の独立 ④大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化 ⑤生活様式の変化		○	○		1		
3月	12部 「国際秩序 の変化や大衆化」とは何か	序章 国際秩序の変化や大衆化への問い 1章 第一次世界大戦と日本の対応 2章 国際協調と大衆社会の広がり 3章 日本の行方と第二次世界大戦 4章 再出発する世界と日本	「国際秩序の変化や大衆化」とは何か	1 ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 2 総力戦となった第一次世界大戦 3 ロシア革命と大戦の終結 【2学期中間考査】 1 ヴェルサイユ体制の成立 2 東アジアの民族自決の行方 3 中東・インドの民族自決の影響 4 ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 5 大衆社会の出現とアメリカの繁栄 6 日本における大衆社会の形成 1 世界恐慌が与えた影響 2 ファシズムの台頭と拡大 3 政党政治の断絶と満洲事変 4 日中戦争の始まり 5 第二次世界大戦の展開 6 戦局の悪化と被害の拡大 7 第二次世界大戦の終結とその惨禍 【2学期期末考査】 1 戦後の新たな国際秩序 2 冷戦の始まり 3 日本撤退後の東アジア 4 日本の改革と独立の回復 「国際秩序の変化や大衆化」を振り返り現代的な諸課題と結び付けて考えよう！ 現代の諸課題を通し、国際秩序の変化や大衆化について考察しよう。	ドイツとロシアの対外政策の変更は、どのような対立を生んだのだろうか。 世界の国々とその国民は、どのようにして第一次世界大戦に関わっていったのだろうか。 どのようにして、ロシアで社会主義政権が誕生していったのだろうか。 第一次世界大戦後、どのような国際秩序が形成されたのだろうか。 第一次世界大戦後、東アジアではどのような変化が起こったのだろうか。 第一次世界大戦は、中東諸国やインドにどのような影響を与えたのだろうか。 第一次世界大戦後、人々はどういったことを望んだのだろうか。 第2次産業革命以降、欧米などで形成された大衆社会とは、どのようなものだろうか。 日本では、どのようにして大衆社会が形成されていったのだろうか。 世界恐慌は、国際協調体制にどのような影響を与えたのだろうか。 ファシスト党やナチ党は、どのようにして人々をひき付けていったのだろうか。 なぜ日本は、満洲への進出を進めていったのだろうか。 なぜ、日本は日中戦争へと突き進んでいったのだろうか。 第二次世界大戦は、どのようにして世界規模の戦争になっていったのだろうか。 第二次世界大戦は、どのように進展したのだろうか。 第二次世界大戦は、どのように終結し、どのような問題を残したのだろうか。 第二次世界大戦後、どの国々を中心として、どのような国際体制が作られたのだろうか。 アメリカとソ連の対立は、ヨーロッパにおいてどのような形で表れたのだろうか。 日本軍が撤退したあとのアジア諸国は、どのように主権を回復していったのだろうか。 占領下の日本では、どのような国が目指され、どのように独立を回復したのだろうか。 現代の諸課題を通し、国際秩序の変化や大衆化について考察しよう。	◎	○	○	1		
				第一次世界大戦は、日本を含む世界の国々にとってどのような戦争になったのだろうか。							
				欧米や日本など、世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったのだろうか。							
				大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのだろうか。							
(1) 評価は、①知識・技能 ②思考力・表現力・判断力 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点をもとに総合的に行う。 (2) 評価の仕方について ① 1学期・2学期は、3観点をそれぞれA・B・Cで評価する。 (得点率) (評価) 65%≦(得点率)≦100% …………… A(十分に満足できる) 35%≦(得点率)<65% …………… B(おおむね満足できる) 0%≦(得点率)<35% …………… C(努力を要する) ② 学年末は、1～3学期の観点別評価の平均値を、評価配分に基づいて100点法に変換し、次のように5段階法で行う。 80～100点 … 5 65～79点 … 4 50～64点 … 3 35～49点 … 2 0～34点 … 1(単位保留) ③ 歴史総合の評価配分は、次の通りとする。 知識・技能 : 思考力・表現力・判断力 : 主体的に学習に取り組む態度 → 5 : 3 : 2											

令和4年度 年間指導計画		学校名	県立具志川高等学校	科・コース名	普通科	クラス	1～6組	単位	2	学年	1	留意事項		
		教科名	地理歴史	科目名	歴史総合	教科書名（会社名）	明解 歴史総合（帝国書院）							
A （1） の 目 標	柱書	諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。												
	知識及び技能	（7） 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解すること。												
	思考力、判断力、表現力等	（7） 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、上段で取り上げる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現すること。												
	学びに向かう力、人間性等	私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、よりよい社会の実現を視野に自身と課題を関連付けて主体的に解決しようとする態度を養う。												
A （2） の 目 標	柱書	日本や世界の様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、図像などの資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。												
	知識及び技能	（7） 資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解すること。												
	思考力、判断力、表現力等	（7） 複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現すること。												
	学びに向かう力、人間性等	様々な資料を基に、よりよい社会の実現を視野に自身と課題を関連付けて主体的に解決しようとする態度を養う。												
B （1） の 目 標	柱書	交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。												
	知識及び技能	（7） 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けること。												
	思考力、判断力、表現力等	（7） 近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現すること。												
	学びに向かう力、人間性等	近代化の歴史に関わる諸事象を基に、より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとする態度を養う。												
B （2） の 目 標	柱書	諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。												
	知識及び技能	（7） 18 世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18 世紀のアジアの経済と社会を理解すること。 （4） 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解すること。												
	思考力、判断力、表現力等	（7） 18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 （4） 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現すること。												
	学びに向かう力、人間性等	近代化の歴史に関わる諸事象を基に、より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとする態度を養う。												
B （3） の 目 標	柱書	諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。												
	知識及び技能	（7） 18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解すること。 （4） 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解すること。												
	思考力、判断力、表現力等	（7） 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 （4） 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現すること。												
	学びに向かう力、人間性等	近代化の歴史に関わる諸事象を基に、より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとする態度を養う。												
評価の表記について														
・学習改善（指導）に生かす評価【●】は、毎時間行うものであり年間指導計画には表記しない。 ・評定に用いる（記録に残す）評価は、【◎】＝ペーパーテストで見取る、【○】＝ワークシートなどのペーパーテスト以外で見取ることを表す。														
学期	月	大項目	大項目の問い	中項目 （教科書にある単元名でも可）	F Q （中項目/単元を貫く問い）	小単元名と考査の位置づけ	MQ（本時の問い）	評価の観点			時数	単元（内容のまとめり）ごとの評価規準（B評価の生徒の姿）		
								知	思	態				
1 学期	4 月	1 部 歴史の扉	なぜ歴史を学ぶのか		「歴史」とは何か	オリエンテーション					1	【知識・技能】 （7） 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 （4） 資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 （7） 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、上段で取り上げる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 （4） 複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象や資料を基に、よりよい社会の実現を視野に自身と課題を関連付けて主体的に解決しようとしている。		
						巻頭資料 各地域の諸文明								
				1 章 歴史と私たち		1 歴史と私たち 身近なものと歴史	私たちの身近にあるものには、どのような歴史や世界との結び付きがあるのだろうか。	◎	○	○	1			
				2 章 歴史の特質と資料		2 歴史の特質と資料	私たちは過去の状況をどのようにして知り、伝えてきたのだろうか。	◎	○	○	1			
		5 月 2 部 近代化私たち	序章 近代化への問い	「近代化」とは何か	①交通と貿易	6つのキーワードからどのような疑問点が浮かびあがってくるだろうか			○	○	2	【知識・技能】 （7） 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 （7） 近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代化の歴史に関わる諸事象を基に、より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。		
					②産業と人口									
					③権利意識と政治参加や国民の義務									
					④学校教育									
	⑤労働と家族													
	⑥移民													
	1 章 江戸時代の日本と結び付く世界		18世紀の日本やアジア、ヨーロッパは、それぞれのようにつながっていたのだろうか。	1 アジアのなかの江戸幕府	江戸時代の日本と世界は、どのように結び付いていたのだろうか。	◎	○	○	1	【知識・技能】 （7） 18 世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18 世紀のアジアの経済と社会を理解している。 （4） 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解している。 【思考・判断・表現】 （7） 18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 （4） 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代化の歴史に関わる諸事象を基に、より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。				
				2 成熟する江戸社会	江戸時代後期の日本は、どのような社会だったのだろうか。	◎	○	○	1					
				3 清の繁栄と結び付く東アジア	18世紀の清は、アジアやヨーロッパとどのように結び付いていたのだろうか。	◎	○	○	1					
				4 アジア・アメリカに向かうヨーロッパ	17～18世紀のアジアやアメリカでは、どのような貿易が展開されていたのだろうか。	◎	○	○	1					
				【1学期中間考査】		◎	◎		1					
	2 章 欧米諸国における近代化		欧米で起こった市民革命・産業革命により、社会はどのように変化したのだろうか。	1 イギリスの革命とアメリカの独立	イギリスの革命とアメリカの独立戦争によって、どのような政治体制が生まれたのだろうか。	◎	○	○	1	【知識・技能】 （7） 18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。 （4） 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 【思考・判断・表現】 （7） 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 （4） 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代化の歴史に関わる諸事象を基に、より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。				
				2 フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け	フランス革命によって、政治と社会はどのように変化したのだろうか。	◎	○	○	1					
				3 フランス革命の影響と国民意識の芽生え	フランス革命は、当時のヨーロッパやアメリカ大陸の政治にどのような影響を与えたのだろうか。	◎	○	○	1					
				4 産業革命で変わる社会	産業革命は、近代社会の形成にどのような役割を果たしたのだろうか。	◎	○	○	1					
				5 イギリスの繁栄と国際分業体制	欧米による世界市場の形成は、世界をどのように変えていったのだろうか。	◎	○	○	1					
	6 月			3 章 近代化の進展と国民国家形成	近代化が進むなかで、欧米諸国はどのような国家を形成していったのだろうか。	1 1848年～近代ヨーロッパの転換点	1848年を境に、ヨーロッパではどのような社会に変化していったのだろうか。	◎	○	○	1	【知識・技能】 （7） 18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。 （4） 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 【思考・判断・表現】 （7） 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 （4） 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代化の歴史に関わる諸事象を基に、より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。		
						2 イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化	イタリア・ドイツ・ロシアではどのように近代国家形成を属したのだろうか。	◎	○	○	1			
						3 アメリカの拡大と第2次産業革命	アメリカは、どのようにして国内統一と工業化を達成したのだろうか。	◎	○	○	1			
						4 帝国主義と世界の一体化	第2次産業革命後、世界規模でどのような変化があったのだろうか。	◎	○	○	1			
						【1学期期末考査】		◎	◎		1			
	7 月			4 章 アジア諸国の動揺と日本の開国	近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのだろうか。	1 「西洋の衝撃」と西アジアの変化	イスラム諸国は、ヨーロッパ諸国の進出により、どのような影響を受けたのだろうか。	◎	○	○	1	【知識・技能】 （7） 18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。 （4） 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 【思考・判断・表現】 （7） 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 （4） 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代化の歴史に関わる諸事象を基に、より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。		
						2 南・東南アジアの植民地化	どのようにして、アジアの各地にヨーロッパの植民地が形成されていたのだろうか。	◎	○	○	1			
						3 ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争	清は、ヨーロッパ諸国の進出に対してどのように対応したのだろうか。	◎	○	○	1			
						4 黒船の来航と日本の対応	日本は、欧米諸国の進出に対して、どのように対応したのだろうか。	◎	○	○	1			
						5 新体制の模索と江戸幕府の滅亡	日本では、近代化を受け入れるにあたり、どのような対応があったのだろうか。	◎	○	○	1			

令和4年度		学校名	県立長志川高等学校	科・コース名	普通科	クラス	1～6組	単位	2	学年	1	留意事項	
年間指導計画		教科名	地理歴史	科目名	歴史総合	教科書名（会社名）	明解 歴史総合（帝国書院）						
B （4） の 目 標	柱書	内容のA及びBの（1）から（3）までの学習などを基に、自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点から主題を設定し、諸資料を活用して、追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。											
	知識及び技能	（7） 現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解すること。											
	思考力、判断力、表現力等	（7） 事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し、表現すること。											
	学びに向かう力、人間性等	近代化の歴史に関わる諸事象を基に、より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとする態度を養う。											
C （1） の 目 標	柱書	国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。											
	知識及び技能	（7） 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けること。											
	思考力、判断力、表現力等	（7） 国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現すること。											
	学びに向かう力、人間性等	国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象を基に、より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとする態度を養う。											
C （2） の 目 標	柱書	諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。											
	知識及び技能	（7） 第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解すること。 （4） 大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解すること。											
	思考力、判断力、表現力等	（7） 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 （4） 第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現すること。											
	学びに向かう力、人間性等	国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象を基に、より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとする態度を養う。											
C （3） の 目 標	柱書	諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。											
	知識及び技能	（7） 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解すること。 （4） 第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解すること。											
	思考力、判断力、表現力等	（7） 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 （4） 第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現すること。											
	学びに向かう力、人間性等	国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象を基に、より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとする態度を養う。											
C （4） の 目 標	柱書	内容のA及びCの（1）から（3）までの学習などを基に、自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点から主題を設定し、諸資料を活用して、追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。											
	知識及び技能	（7） 現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解すること。											
	思考力、判断力、表現力等	（7） 事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し表現すること。											
	学びに向かう力、人間性等	国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象を基に、より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとする態度を養う。											
評価の表記について		・学習改善（指導）に生かす評価【●】は、毎時間行うものであり年間指導計画には表記しない。 ・評定に用いる（記録に残す）評価は、【◎】＝ペーパーテストで見取る、【○】＝ワークシートなどのペーパーテスト以外で見取ることを表す。											
学期	月	大項目	大項目の問い	中項目 （教科書にある單元まで可）	FQ （中項目/單元を貫く問い）	小单元名と考查の位置づけ	MQ（本時の問い）	評価の観点			時数	単元（内容のまとまり）ごとの評価規準（B評価の生徒の姿）	
								知	思	態			
2 学 期	9 月	2 部 近代化 私たち	近代化とは何か	5章 近代化が進む日本と東アジア	日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変化していったのだろうか。	1 新政府の誕生	明治維新により、日本はどのような国家に変化したのだろうか。	◎	○	○	1	【知識・技能】 （7） 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。 （4） 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 【思考・判断・表現】 （7） 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 （4） 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代化の歴史に関わる諸事象を基に、より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。	
						2 近代国家を目指す日本	日本は、近代国家となるために、どのような政策を進めていったのだろうか。	◎	○	○	1	【知識・技能】 （7） 現代の諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解している。 【思考・判断・表現】 （7） 事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代化の歴史に関わる諸事象を基に、より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。	
						3 日本と清の近代化と日清戦争	近代化の進展により、日本・清・朝鮮の国際関係は、どのように変化したのだろうか。	◎	○	○	1		
						4 列強の中国進出と日露戦争	日清戦争の後、日本や清では、どのような変化があったのだろうか。	◎	○	○	1		
						5 日露戦争が与えた影響	日露戦争の結果は、世界の各国にどのような影響を与えたのだろうか。	◎	○	○	1		
						「近代化」を振り返り現代的な諸課題と結び付けて考えよう！					2		
	10 月	3 部 国際秩序 の変化や大衆化 とは何か	序章 国際秩序の変化や大衆化への問い	「国際秩序の変化や大衆化」とは何か	①国際関係の緊密化 ②アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭 ③植民地の独立 ④大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化 ⑤生活様式の変化	「国際秩序の変化や大衆化」とは何か					1	【知識・技能】 （7） 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 （7） 国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象を基に、より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。	
												【知識・技能】 （7） 第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。 （4） 大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 【思考・判断・表現】 （7） 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 （4） 第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象を基に、より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。	
							1 ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張	ドイツとロシアの対外政策の変更は、どのような対立を生んだのだろうか。	◎	○	○	1	
							2 総力戦となった第一次世界大戦	世界の国々とその関係は、どのようにして第一次世界大戦に陥っていったのだろうか。	◎	○	○	1	
							3 ロシア革命と大戦の終結	どのようにして、ロシアで社会主義政権が誕生していったのだろうか。	◎	○	○	1	
			【2学期中間考查】			◎	◎		1	【知識・技能】 （7） 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。 （4） 第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 【思考・判断・表現】 （7） 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 （4） 第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象を基に、より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。			
			1 ヴェルサイユ体制の成立	第一次世界大戦後、どのような国際秩序が形成されたのだろうか。	◎	○	○	1					
			2 東アジアの民族自決の行方	第一次世界大戦後、東アジアではどのような変化が起こったのだろうか。	◎	○	○	1					
			3 中東・インドの民族自決の影響	第一次世界大戦は、中東やインドにどのような影響を与えたのだろうか。	◎	○	○	1					
			4 ヨーロッパの復興と大衆の政治参加	第一次世界大戦後、人々はどうしたことを望んだのだろうか。	◎	○	○	1					
	11 月		3章 日本の行方と第二次世界大戦	大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのだろうか。				5 大衆社会の出現とアメリカの繁栄	第二次大衆革命以降、欧米などで形成された大衆社会とは、どのようなものだろうか。	◎	○	○	1
								6 日本における大衆社会の形成	日本では、どのようにして大衆社会が形成されていったのだろうか。	◎	○	○	1
								1 世界恐慌が与えた影響	世界恐慌は、国際協調体制にどのような影響を与えたのだろうか。	◎	○	○	1
								2 ファシズムの台頭と拡大	ファシスト党やナチ党は、どのようにして人々をひきつけていったのだろうか。	◎	○	○	1
								3 政党政治の断絶と満州事変	なぜ日本は、満州への進出を進めていったのだろうか。	◎	○	○	1
								4 日中戦争の始まり	なぜ、日本は日中戦争へと突き進んでいったのだろうか。	◎	○	○	1
								5 第二次世界大戦の展開	第二次世界大戦は、どのようにして世界規模の戦争になっていったのだろうか。	◎	○	○	1
								6 戦局の悪化と被害の拡大	第二次世界大戦は、どのように進展したのだろうか。	◎	○	○	1
								7 第二次世界大戦の終結とその惨禍	第二次世界大戦は、どのように終結し、どのような惨禍を招いたのだろうか。	◎	○	○	1
【2学期期末考查】									◎	◎		1	【知識・技能】 （7） 現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。 【思考・判断・表現】 （7） 事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象を基に、より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。
1 戦後の新たな国際秩序	第二次世界大戦後、世界はどのように変化したのだろうか。	◎	○	○	1								
2 冷戦の始まり	アメリカとソ連対立の対立は、ヨーロッパにおいてどのような形を取ったのだろうか。	◎	○	○	1								
3 日本撤退後の東アジア	日本軍が撤退したあとのアジア諸国は、どのように立場を整理していったのだろうか。	◎	○	○	1								
12 月	4 日本	日本の改革と独立の回復	占領下の日本では、どのような国が目指され、どのように独立を回復したのだろうか。		◎	○	○	1					
			「国際秩序の変化や大衆化」を振り返り現代的な諸課題と結び付けて考えよう！					2					

令和4年度 年間指導計画				学校名	県立具志川高等学校	科・コース名	普通科	クラス	1～6組			単位	2	学年	1	留意事項	
				教科名	地理歴史	科目名	歴史総合	教科書名（会社名）			明解 歴史総合（帝国書院）						
D （1） の 目 標	柱書			冷戦と国際関係，人と資本の移動，高度情報通信，食料と人口，資源・エネルギーと地球環境，感染症，多様な人々の共存などに関する資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。													
	知識及び技能			(ア) 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けること。													
	思考力，判断力，表現力等			(ア) グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現すること。													
	学びに向かう力，人間性等			グローバル化の歴史に関わる諸事象を基に，より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとする態度を養う。													
D （2） の 目 標	柱書			諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。													
	知識及び技能			(ア) 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理などを基に，国際政治の変容を理解すること。 (イ) 西ヨーロッパや東南アジアの地域連携，計画経済とその波及，日本の高度経済成長などを基に，世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解すること。													
	思考力，判断力，表現力等			(ア) 地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し，表現すること。 (イ) 冷戦が各国経済に及ぼした影響，地域連携の背景と影響，日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，冷戦下の世界経済や地域連携の特徴，経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現すること。													
	学びに向かう力，人間性等			グローバル化の歴史に関わる諸事象を基に，より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとする態度を養う。													
D （3） の 目 標	柱書			諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。													
	知識及び技能			(ア) 石油危機，アジアの諸地域の経済発展，市場開放と経済の自由化，情報通信技術の発展などを基に，市場経済の変容と課題を理解すること。 (イ) 冷戦の終結，民主化の進展，地域統合の拡大と変容，地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に，冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解すること。													
	思考力，判断力，表現力等			(ア) アジアの諸地域の経済発展の背景，経済の自由化や技術革新の影響，資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現すること。 (イ) 冷戦の変容と終結の背景，民主化や地域統合の背景と影響，地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現すること。													
	学びに向かう力，人間性等			グローバル化の歴史に関わる諸事象を基に，より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとする態度を養う。													
D （4） の 目 標	柱書			内容のA，B及びC並びにDの（1）から（3）までの学習などを基に，持続可能な社会の実現を視野に入れ，主題を設定し，諸資料を活用し探究する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。													
	知識及び技能			(ア) 歴史的経緯を踏まえて，現代的な諸課題を理解すること。													
	思考力，判断力，表現力等			(ア) 事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり，現代的な諸課題を展望したりするなどして，主題について多面的・多角的に考察，構想し，表現すること。													
	学びに向かう力，人間性等			グローバル化の歴史に関わる諸事象を基に，より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとする態度を養う。													
評価の表記について																	
・学習改善（指導）に生かす評価【●】は，毎時間行うものであり年間指導計画には表記しない。 ・評定に用いる（記録に残す）評価は，【◎】＝ペーパーテストで見取る，【○】＝ワークシートなどのペーパーテスト以外で見取ることを表す。																	
学期	月	大項目	大項目の問い	中項目 （教科書にある単元名でも可）	FQ （中項目/単元を貫く問い）	小単元名と考查の位置づけ	MQ（本時の問い）	評価の観点			時数	単元（内容のまとめり）ごとの評価規準（B評価の生徒の姿）					
				知	思	態											
3 学 期	1 月	4 部 グ ロ ー バ ル 化 と 私 た ち	「グ ロ ー バ ル 化 」 とは 何 か	序章 グローバル化への問い	「グローバル化」とはなにか	1 アメリカ・ソ連の緊張と緩和	アメリカとソ連の緊張と緩和は，国際社会にどのような影響を与えただろうか。	◎	○	○	1	【知識・技能】 (ア) 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 (ア) グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 グローバル化の歴史に関わる諸事象を基に，より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。					
				1 章 冷戦で揺れる世界と日本	冷戦が展開されるなかで，日本や世界の国々はどのような選択をしたのだろうか。	2 冷戦下における日本の復興	日本は，どのような国内外の状況のなかで高度経済成長を遂げたのだろうか。	◎	○	○	1	【知識・技能】 (ア) 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理などを基に，国際政治の変容を理解している。 (イ) 西ヨーロッパや東南アジアの地域連携，計画経済とその波及，日本の高度経済成長などを基に，世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。					
						3 第三勢力の形成と脱植民地化	冷戦が激しくなるなか，アジア・アフリカの脱植民地化はどのように展開しただろうか。	◎	○	○	1	【思考・判断・表現】 (ア) アジアの諸地域の経済発展の背景，経済の自由化や技術革新の影響，資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。					
						4 中東戦争とパレスチナ問題	なぜ，中東の問題が，世界中に影響を与えたのだろうか。	◎	○	○	1	【主体的に学習に取り組む態度】 グローバル化の歴史に関わる諸事象を基に，より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。					
	2 月			2 章 多極化する世界	冷戦が展開されるなかで，日本や世界の国々はどのような経済成長を遂げただろうか。	1 揺らぐアメリカと先進各国の変化	1960～70年代のアメリカが抱えた問題は，国際社会にどのような影響を与えただろうか。	◎	○	○	1	【知識・技能】 (ア) 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理などを基に，国際政治の変容を理解している。 (イ) 西ヨーロッパや東南アジアの地域連携，計画経済とその波及，日本の高度経済成長などを基に，世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。					
						2 「経済大国」日本の模索	1960～70年代の日本が抱えた国内外の問題は，どのようなものか。	◎	○	○	1	【思考・判断・表現】 (ア) 地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。					
						【学年末考查】			◎	◎		1	【主体的に学習に取り組む態度】 グローバル化の歴史に関わる諸事象を基に，より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。				
						3 経済発展に取り組むアジア・南米諸国	東アジア・東南アジアの国々が経済成長に成功したのは，なぜだろうか。	◎	○	○	1	【知識・技能】 (ア) 石油危機，アジアの諸地域の経済発展，市場開放と経済の自由化，情報通信技術の発展などを基に，市場経済の変容と課題を理解している。 (イ) 冷戦の終結，民主化の進展，地域統合の拡大と変容，地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に，冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。					
	3 月			3 章 グローバル化のなかの世界と日本	冷戦が終わり，グローバル化は，世界をどのように変えただろうか。	1 冷戦の終結と変わる世界構造	冷戦体制が終結したことで，世界構造はどのように変化したのだろうか。	◎	○	○	1	【知識・技能】 (ア) 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理などを基に，国際政治の変容を理解している。 (イ) 冷戦の終結，民主化の進展，地域統合の拡大と変容，地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に，冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。					
						2 冷戦の終結が与えた世界への影響	冷戦の終結は，アジアの国々にどのような影響を与えたのだろうか。	◎	○	○	1	【思考・判断・表現】 (ア) アジアの諸地域の経済発展の背景，経済の自由化や技術革新の影響，資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。					
						3 超大国アメリカと中東情勢	アメリカが中東情勢に関与し続けるのは，なぜだろうか。	◎	○	○	1	【主体的に学習に取り組む態度】 グローバル化の歴史に関わる諸事象を基に，より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。					
						4 国際環境の変化と日本	国際環境の変化によって，日本の政治や社会は，どのように変わったのだろうか。	◎	○	○	1	【知識・技能】 (ア) 歴史的経緯を踏まえて，現代的な諸課題を理解している。 【思考・判断・表現】 (ア) 事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり，現代的な諸課題を展望したりするなどして，主題について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。					
						5 グローバル化による国際社会の変容	グローバル化のさらなる進展により，国際社会はどのように変わってきたのだろうか。	◎	○	○	1	【主体的に学習に取り組む態度】 グローバル化の歴史に関わる諸事象を基に，より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。					
					これまでの学習を振り返り現代的な諸課題の形成と展望を考えよう！									◎	○	4	【知識・技能】 (ア) 歴史的経緯を踏まえて，現代的な諸課題を理解している。 【思考・判断・表現】 (ア) 事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり，現代的な諸課題を展望したりするなどして，主題について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 グローバル化の歴史に関わる諸事象を基に，より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。